

料金後納

ゆうメール

(株)育脳寺子屋MAC 本部教室 MAC真成塾  
〒616-8156 京都市右京区太秦西野町20  
電話:(075)871-0374 FAX:(075)882-3777

2020年  
2月号

Mathematics Abacus Chinese character

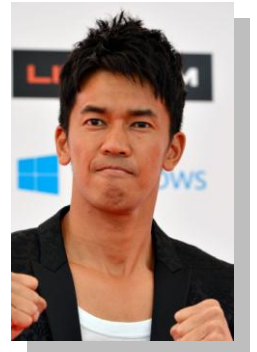
# MAC NEWS

お子さんが大人になった時、社会で活躍できるヒントがいっぱい！！

## 陸上十種競技、日本一からの方向転換

～少年時代の不安が、僕に「稼ぐ力」を与えてくれたんです～

「実はわたくし、百獣の王と言っていますが、  
一頭も動物を倒したことはありません。大変申し訳ございません」



あるテレビ番組内で、このようなユニークな経歴詐欺を暴露し、笑いを誘ったのはタレントの武井壮さんです。

彼は以前陸上十種競技の日本チャンピオンになり、その後も数々のスポーツを経験したのち、今は芸能界でタレントとして活躍されています。

そんな武井さんに対しては「スポーツ万能で芸能界でも活躍されているので、さぞ多彩な才能の持ち主なんだろうなあ・・・」程度にしか思っていなかったのですが、実は壮絶な人生を歩まれてきたようです。

その人生からたどり着いた「武井さんなりの考え方」は、これからの激動の時代を生きる子供たちにぜひとも知っておいてほしい内容でした。その考え方とは一体どのようなものだったのでしょうか。

## 壮絶な幼少時代 ～すべては、生きるために～

武井さんは、「お金は活動の制限を取り除いてくれる、自由への鍵」だと仰っています。

得たお金を何にいくら使うかにはあまり興味はなく、お金によって自分の時間や活動できる内容を自由に選択できるところに、最大の価値があると考えられているそうです。

そんなお金の価値観をはっきり自覚したのは、なんと小学生の時だったそうです。

東京都葛飾区生まれの武井さんは、両親と2歳差の兄の4人家族でした。しかし幼いころに両親が離婚、その後武井さんと兄は父親に引き取られることとなりますが、父親とは離れて暮らしていたので、実際は兄との2人暮らしという状況でした。

さらにその父親が他に家庭を持つようになったので、住む場所はあるものの、生活費は自分たち兄弟で稼がなくてはならない状況に陥りました。

そんな状況を知った近所のある方が、

「うちのゴミ出しを手伝ってくれたら、毎月500円あげるよ。もしほかの家の分もできるなら、私がみんなからお金を集めてあげるね！」

と提案してくれたのです。それから武井少年は早起きして、家の前に出されたゴミを集積所まで持っていくようになりました。最初は30件程度でしたが、徐々にその数は増え、多い時には150件ほどになりました。武井さんは当時をこのように振り返ります。

「こどもだから何も考えず、頑張っただけで件数を増やしてしまったけど、今思うと多分そのお婆さんはご近所から徴収などせず、ご自分で負担してくださっていたんだと思います。150件だと月に7万5000円ですからね・・・。

でもその温かい援助のおかげで一定の期間生活は楽になりましたし、『お金』というものに向き合うきっかけとなった。人の嫌がることを引き受ければ、そこにお金を支払う人がいるのだという事を学べ、良い経験ができたと思います。」

学生時代はスポーツ漬けだったのかと思いきや、実は中高の 6 年間は勉強漬けの日々を送っていたそうです。なにしろお金が無いので、成績が良ければ学費が免除される中高一貫校を選び、見事 6 年間の学費をすべて免除してもらったのだそうです。そして奨学金を生活費の足しにして、大学進学も決めることができました。

一見充実していそうな学生生活ですが、決して楽しい毎日ではありませんでした。

勉強面では定期テストで毎回トップの成績を維持しつつ、得意だったスポーツで生計を立てるために独自のトレーニング理論を考えたりと、全ては「生きるために仕方なく」努力し続けていたそうです。

大学 1 年の夏に陸上競技を始め、100m 走のデビュー戦で 10 秒 9 の好記録を出し、その後インカレや日本選手権で優勝。100m と 400m 走の記録は当時の日本最高記録だったそうです。

そしてある企業から念願のオファーをもらうこととなります。しかしそこで提示された金額は一般的なサラリーマンとほぼ変わらない金額だったそうです。

同じ学年で言えば野球ではイチロー選手、スピードスケートなら清水宏保選手とスーパースターがいる世代です。やっと頂点まで上り詰めたのに、この程度しか評価されない競技を選んでしまった自分を責め、どん底へと突き落とされました。

そしてもう一つ、どん底に突き落とされる出来事が起きます。武井さんが 22 歳の時、唯一の家族である兄がガンで亡くなったのです。享年 24 歳でした。

兄は中学卒業後、芸能界を目指して坂上忍さんの付き人になりました。兄が芸能界を目指すと言い出した時は、とにかく生活が苦しかったので「なに夢みたいなこと言っているんだ！」と毎日喧嘩したそうですが、地道な努力が実を結び、やっとテレビや映画で小さな役をもらえるようになった・・そんな矢先のことだったそうです。

(自由に好き勝手しているように見えた兄ですが、実は父からの限られた援助が全て弟に行くように高校進学を諦めていたという事実を知るのは、武井さんが芸能界に入ってからのことでした)

## 今の自分を生かし、どうやって稼ぐ？

ある分野で一番になれば人生が豊かになる。そう考え自分の人生を陸上に費やしてきたものの、選んだ分野があまりにもお金を生まない競技だと知りました。

スポーツの分野で「日本一」になった能力に、経済的な付加価値を持たせるには何が  
必要か？悩んだ武井さんが考え出した結論は、**芸能界に進むこと**でした。当然そこには、  
兄の断たれた夢の分も生きたいという思いがあったそうです。しかし、それだけではあ  
りません。

芸能界ならスポーツで手に入れられなかった「知名度」や「需要」が得られる、そし  
て芸能界には「自分と同じレベルで幅広くスポーツをプレーできる人はいない」、その掛  
け算に、経済的化学反应が起きると思ったのです。

しかし現状のまま芸能界を目指してもダメだと思いました。当時のテレビ欄を見て取  
り上げられているのは「ゴルフ」と「野球」だけでした。（当時サッカーはJリーグ開幕  
から数年で、まだブームにはなっていなかったそうです）

そこで芸能界に進むまでにゴルフと野球はマスターする必要があると考え、スポンサ  
ーを見つけアメリカに3年間ゴルフ留学し、その後台湾プロ野球のトレーニングコーチ  
をするため台湾に渡りました。帰国後は社会人の野球チームに入団し、投手として活動。  
20代の時間はすべてゴルフと野球の為に使い、30代からは芸能界デビューの足掛かりを  
つかもうと決めていました。

そして39歳になった頃、本格的に芸能活動を開始したのでした。

「人に比べて、子供の頃にお金で不自由はしましたが、皆さんの応援のおかげで自由  
に行動できる鍵を手に入れられた。その鍵を手に入れるための一番の方法は『学習』で  
あり、自分の能力を『開発すること』です。

これからは多くの人に『あんな発想ができれば、自分も成功できるかもしれない』と  
いう見本になれるような活動をしていきたいと思います」（武井壮）

## 掛け算の発想が「稼げる人」に

今回はタレントの武井壮さんを紹介させて頂きましたが、なにも芸能界に入って稼げ！とか、日本一になるまでクラブを頑張れ！と言いたいわけではありません。

子どもたちに伝えたいのは、武井さんが芸能界入りを決めた際の掛け算の発想です。

実は「藤原和博の必ず食える 1%の人になる方法（東洋経済新報社）」という本にも、全く同じ内容が書かれています。

藤原和博さんは、元リクルートの社員で営業統括部長や新規事業担当部長などを歴任した実力者で、2003年には都内では義務教育初の民間校長として杉並区立和田中学校校長を務め、2008～2011年には橋下大阪府知事の特別顧問を務められた人物です。

藤原先生は、これからの社会人はほんの一握りの「グローバル・スーパーエリート」と「それ以外の大多数の人々」に、はっきり二極化していくと仰っています。

ではその一握りのスーパーエリートになれなければ絶望的か、と言えは決してそうではなく「それ以外の大多数の人々」の中の1%の人、すなわち「100人に1人」の希少な人になることができれば、稼げる人生になる可能性が高くなるのです。

さらに、一つの分野だけでなく別の分野でも100人に1人の希少な人になることができれば、「100×100=10,000人に1人」の絶対稼げる希少な人になれるのです。（武井壮さんもその発想にたどり着いたのです！）

何か一つの分野で「10,000人に1人」になるのはかなり難しいですが、「100人に1人」なら努力次第でなれます。それを二つの分野ですれば「10,000人に1人」、三つの分野ですれば「100万人に1人」とさらに希少な人となれるのです。（100万人に1人だと、自分の世代で1人というイメージです）

さて、我が子は将来、まずどの分野で「100人に1人」を目指すのでしょうか？  
もし「僕も百獣の王を目指す！」と言い出したら、全力で止めてあげてくださいね（笑）

# とくいぶんや あなたの得意分野はいくつありますか？

べんきょう めんいがい  
勉強の面以外でも、あなたの「得意な分野」や「一生を捧げてよいとおも  
思えるほど好きなこと」ってありますか？

## ひやくにん ひとり ひと めざ まずは「100人に1人」の人を目指そう！

おとな ころ いま じんこう へ えいあい ふきゅう じだい  
『みなさんが大人になる頃は、今よりも人口は減り、AIも普及した時代  
になっています。そんな時代では、みんなから「この人が必要！」と思っ  
てもらえるような「レア」な人でないと、社会で必要とされなくなってし  
まいます。』と、専門家の方は仰います。

ひと ひつよう れあ ひと  
ではどのようにすれば、人に必要とされる「レア」な人になれるので  
しょうか？それは、どんな分野でも良いので「100人に1人」を目指すの  
です。イメージで言うと、3クラスある学年で一番になるくらいです。

ふた ぶんや ひやくにん ひとり いちまんにん  
もし、二つの分野で「100人に1人」になれば、100×100で「1万人  
に1人」の激レアになります。一つの分野で「1万人に1人」になるのは  
とても難しいことですが、二つの分野で「100人に1人」ならば、努力を  
続けることさえできれば、難しくはありません。

とくい ぶんや す なん  
さて、あなたの得意な分野や、好きなことは何ですか？まずはどんな  
分野でも構いませんので「100人に1人」を目指してみてください。



ひやくにん ひとり れあ にんげん  
「100人に1人のレアな人間になれば、  
じだい い ぬ  
これからの時代も生き抜いていけますよ」  
ふじはらかずひろ ぎむきょういくはつ みんかんこうちよう  
藤原和博 ～義務教育初の民間校長～

じぶん へや めだ は よ かえ  
自分の部屋の目立つところに貼って、読み返すようにしましょう。